

都立武蔵野北高等学校  MUSASHINOKITA
HANDBALL
女子ハンドボール部通信

秋季大会でミラクル大逆転!



試合後のムサキタセブン (2017年11月3日・府中高校にて、前2列2年生、後ろ2列1年生)

No.19 (29年度第5号)

平成29年12月16日 (土)

東京都武蔵野市
八幡町2-3-10
都立武蔵野北
高等学校
女子ハンドボール部

◆冬の練習会予定

12/23◎ 9:20~12:15 田無, 藤村

本校グラウンド (駐車不可)

12/24◎ 13:30~17:00 調布北, 小岩, 国立 東京女子体育大学第7体育館(駐車可)

12/27◎ 9:15~17:00 東大和, 安田学園,

本所, 藤村女 24日と同じ東女体大体育館
※保護者の方のご観戦OKです。東女体大には西門から入って、門衛に学校名(ハンドボール)を名乗り、記名して入構してください。

せっかくシュートが決まってもラインクロスの反則などで思うように点が取れないうえ、守ってもマークミスから失点し、あれよあれよという間にリードを広げられて前半が終わって2-8と、ハンドボールでは致命的ともいえる6点差をつけられてしまいました。しかし、ハーフタイムのベンチに戻った選手たちの目は死んではいません。「まだいけるよ」「開き直ってやろう」の声がお互いを励まし、下を向く選手はいなかったのです。ベンチからの指示でディフェンスシフトを変化させた武蔵野北は、後半、見違えるように、その力を爆発させ、いきなり3連取して5-8。1点を返されても、さらに4連続得点で後半なかばの12分、ついに9-9の同点に追いつきました。

前半6点差という絶体絶命のピンチしのぐ

10月8日から始まった「全国高校ハンドボール選抜大会都予選」、いわゆる東京の秋季大会は、新チーム初めての公式戦でした。武蔵野北は1回戦はシードされ、2回戦は雨天順延が3週つづいたあとの11月3日に行われました。

ハンドボール経験豊富なコーチがついて、このところ頭角を現している都立本所が相手。武蔵野北は公式戦初戦ということもあって、部員はなんとなく緊張ぎみのスタートでした。硬さがそのまま出て、ミスが多い試合となってしまいました。

となり、残り1分45秒の間、ひとり足りない状態で試合をせねばならない大ピンチとなりました。誰もが「もうダメか」と思った瞬間、ここで思い切りよく目下がロングパスを出し、受けた小林が苦しい体勢から速攻を決めて13-12。ここから残り45秒をひとり足りない状態だった武蔵野北は守り抜き、

さらに相手のノータイムフリースローもGK高橋の好捕でしので、奇跡的ともいえる大逆転勝利をおさめたのです。コートの中、外、関係なく、感動がチーム全体を包み込みました。みんなが最後まであきらめなかった「気持ち」の勝利といえるでしょう。3回戦は、私立4位の強豪・桐朋女子に大敗して新人戦を終えましたが、本所戦の勝利は、武蔵野北を大きく成長させる予感を抱かせるものとなりました。

恒例のOG会が開催されました

11月26日(日)、OG会が開催されました。午前中はコートでの対OG戦【写真⑤】、午後は卒業生と在校生が交歓する茶話会が行われました【写真⑥】。社会人、学生合わせ、午前約30人、午後約20人の卒業生が来校してくれました。午前中のOG戦では、在校生が1年生、2年生、そして混合チームでOGに挑みました。OGはかつての好プレーを見せてくれる者、逆に足がもつれてしまう者など、様々でしたが、明るい笑い声の絶えない楽しい時間となりました。1年生が史上初めてOGに勝ち、「たのしい」「これからは楽しみ」などといっ

た声、OGから聞かれました。午後の茶話会では、在校生の出し物が卒業生の拍手を浴びたのち、互いの自己紹介、つづいてOGと在校生の懇談となり、在校生の進学、進路の相談に。理系、文系学部の学生、社会人では教員、看護師、保育士、日本語教師、ツアーコンダクターなどと、それぞれ話の輪が広がり、質問も盛んに飛んでいました。



進学・進路について話を聞く部員たち



たくさんの卒業生が来校してくれました